

本資料のうち、枠囲みの内容は、機密事項に属しますので公開できません。

柏崎刈羽原子力発電所第7号機 工事計画審査資料	
資料番号	KK7 本文-003-4 改 4
提出年月日	2020年7月17日

柏崎刈羽原子力発電所第7号機 工事計画審査資料  
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち  
使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備  
(燃料プール代替注水系)

2020年7月

東京電力ホールディングス株式会社

## 4.2 燃料プール代替注水系

### (2) ポンプ

- 可搬型
  - a. 可搬型代替注水ポンプ（A-1 級）（6, 7 号機共用）
  - b. 可搬型代替注水ポンプ（A-2 級）（6, 7 号機共用）

### (6) ろ過装置

- 可搬型
  - a. 可搬型 Y 型ストレーナ（6, 7 号機共用）

### (8) 主配管

- 常設
- 可搬型

4.2 燃料プール代替注水系

(2) ポンプの名称, 種類, 容量, 揚程又は吐出圧力, 最高使用圧力, 最高使用温度, 主要寸法, 材料, 個数及び取付箇所並びに原動機の種類, 出力, 個数及び取付箇所 (常設及び可搬型の別に記載すること。)

・可搬型

a. 可搬型代替注水ポンプ (A-1 級) (6, 7 号機共用)

			変 更 前	変 更 後	
名 称				可搬型代替注水ポンプ (A-1 級) (6, 7 号機共用)	
ポ ン プ	種 類	—		うず巻形	
	容 量* <sup>1</sup>	m <sup>3</sup> /h		45 以上* <sup>2</sup> 45 以上* <sup>3</sup> 48 以上* <sup>4</sup> 147 以上* <sup>5</sup> (168 以上* <sup>6, *7</sup> )	
	吐 出 圧 力* <sup>1</sup>	MPa		0.74 以上* <sup>2</sup> 0.38 以上* <sup>3</sup> 1.31 以上* <sup>4</sup> 1.70 以上* <sup>5</sup> (0.85 以上* <sup>6, *7</sup> )	
	最 高 使 用 圧 力* <sup>1</sup>	MPa		<input type="text"/>	
	最 高 使 用 温 度* <sup>1</sup>	℃		<input type="text"/>	
	主 要 寸 法	吸 込 口 径	mm		<input type="text"/> * <sup>7</sup>
		吐 出 口 径	mm		<input type="text"/> * <sup>7</sup>
		た て	mm		<input type="text"/> * <sup>7</sup>
		横	mm		<input type="text"/> * <sup>7</sup>
		高 さ	mm		<input type="text"/> * <sup>7</sup>
車 両 全 長		mm		7115* <sup>7</sup>	
車 両 全 幅		mm		2280* <sup>7</sup>	
車 両 高 さ	mm		2740* <sup>7</sup>		
材 料	ケ ー シ ン グ	—		<input type="text"/>	
	個 数	—		1 (予備 1)	

K7 ① II R0

			変 更 前	変 更 後
ポ ン プ	取 付 箇 所	—	—	保管場所： 荒浜側高台保管場所 T.M.S.L. 約 37000mm 及び 大湊側高台保管場所 T.M.S.L. 約 35000mm 予備を含めた 2 個を上記 2 箇所にそれぞれ 1 個ずつ保管する。  取付箇所： 【6号機】1台 6号機建屋付近 T.M.S.L. 約 12000mm 【7号機】1台 7号機建屋付近 T.M.S.L. 約 12000mm
	種 類	—	—	ディーゼルエンジン
出 力	kW	146		
個 数	—	1 (予備 1)		
取 付 箇 所	—	ポンプと同じ		

注記\*1 : 重大事故等時における使用時の値。

\*2 : 可搬型スプレイヘッドを用いた使用済燃料貯蔵プールへの注水で使用する場合の値。

\*3 : 常設スプレイヘッドを用いた使用済燃料貯蔵プールへの注水で使用する場合の値。

\*4 : 可搬型スプレイヘッドを用いた使用済燃料貯蔵プールへのスプレイで使用する場合の値。

\*5 : 常設スプレイヘッドを用いた使用済燃料貯蔵プールへのスプレイで使用する場合の値。

\*6 : 消防法に基づく規格放水量・規格放水圧力を示す。

\*7 : 公称値を示す。

b. 可搬型代替注水ポンプ (A-2 級) (6, 7 号機共用)

			変 更 前	変 更 後	
名 称				可搬型代替注水ポンプ (A-2 級) *1 (6, 7 号機共用)	
ポ ン プ	種 類	—		うず巻形	
	容 量*2	m <sup>3</sup> /h/個		45 以上*3 45 以上*4 48 以上*5 147 以上*6 20 以上*7 84 以上*8 130 以上*9 90 以上*10 80 以上*11 120 以上*12 (120 以上*13, *14)	
	吐 出 圧 力*2	MPa	—	0.74 以上*3 0.38 以上*4 1.31 以上*5 1.29 以上*6 1.28 以上*7 1.26 以上*8 1.04 以上*9 1.67 以上*10 0.71 以上*11 1.63 以上*12 (0.85 以上*13, *14)	
	最高使用圧力*2	MPa		□	
	最高使用温度*2	℃		□	
	主 要 寸 法	吸 込 口 径	mm		□*14
		吐 出 口 径	mm		□*14
		た て	mm		□*14
		横	mm		□*14
		高 さ	mm		□*14
車 両 全 長		mm		5480*14	
車 両 全 幅		mm		1885*14	
車 両 高 さ	mm		2600*14		

			変更前	変更後
ポンプ	材料	ケーシング	—	□
	個	数	—	16 (予備 1)
	取	付 箇 所	—	<p>保管場所：</p> <p>荒浜側高台保管場所 T. M. S. L. 約 37000mm, 大湊側高台保管場所 T. M. S. L. 約 35000mm 及び 5 号機東側第二保管場所 T. M. S. L. 約 12000mm 予備を含めた 17 個を上記 3 箇所のうち荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所にそれぞれ 6 個，5 号機東側第二保管場所に 5 個を保管する。</p> <p>取付箇所：</p> <p>【6 号機】4 個 淡水貯水池付近 T. M. S. L. 約 49000mm, 弥彦通り及び佐渡通り交差点付近 T. M. S. L. 約 15000mm 及び 6 号機建屋付近 T. M. S. L. 約 12000mm 【7 号機】4 個 淡水貯水池付近 T. M. S. L. 約 49000mm, 弥彦通り及び佐渡通り交差点付近 T. M. S. L. 約 15000mm 及び 7 号機建屋付近 T. M. S. L. 約 12000mm</p>
	種	類	—	ディーゼルエンジン
出	力	kW/個	100	
個	数	—	16 (予備 1)	
取	付 箇 所	—	ポンプと同じ	

注記\*1：原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（格納容器圧力逃がし装置）及び非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低圧代替注水系，水の供給設備）並びに原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（格納容器下部注水系，代替格納容器スプレイ冷却系，低圧代替注水系），圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納

容器再循環設備（格納容器圧力逃がし装置）及び圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）と兼用。

- \*2 : 重大事故等時における使用時の値。
- \*3 : 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（可搬型スプレイヘッドを用いた使用済燃料貯蔵プールへの注水）で使用する場合はの値。
- \*4 : 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（常設スプレイヘッドを用いた使用済燃料貯蔵プールへの注水）で使用する場合はの値。
- \*5 : 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（可搬型スプレイヘッドを用いた使用済燃料貯蔵プールへのスプレイ）で使用する場合はの値。
- \*6 : 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（常設スプレイヘッドを用いた使用済燃料貯蔵プールへのスプレイ）で使用する場合はの値。
- \*7 : 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（格納容器圧力逃がし装置）並びに原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（格納容器圧力逃がし装置）及び圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）で使用する場合はの値。
- \*8 : 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低圧代替注水系）及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（低圧代替注水系）で使用する場合はの値。
- \*9 : 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（水の供給設備）で使用する場合はの値。
- \*10 : 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（格納容器下部注水系）で使用する場合はの値。
- \*11 : 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（代替格納容器スプレイ冷却系）で使用する場合はの値。
- \*12 : 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低圧代替注水系）及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（代替格納容器スプレイ冷却系）で同時に使用する場合はの値。
- \*13 : 消防法に基づく規格放水量・規格放水圧力を示す。
- \*14 : 公称値を示す。

(6) ろ過装置の名称, 種類, 容量, 最高使用圧力, 最高使用温度, 主要寸法, 材料, 個数  
及び取付箇所 (常設及び可搬型の別に記載すること。)

・可搬型

a. 可搬型 Y 型ストレーナ (6, 7 号機共用)

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	可搬型 Y 型ストレーナ*1 (6, 7 号機共用)
種	類	—		Y 型ストレーナ
容	量*2	m <sup>3</sup> /h/個		22.5 以上*3 22.5 以上*4 24 以上*5 73.5 以上*6 20 以上*7 42 以上*8 65 以上*9 45 以上*10 40 以上*11 60 以上*12 (73.5*13)
最高使用圧力*2		MPa		2.0
最高使用温度*2		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		114.3*13
	本 体 厚 さ	mm		6.0*13
	ふ た 板 厚 さ	mm		24*13
	長 さ	mm		430*13
寸 法	入 口 管 台 口 径	—		75 A*14
	出 口 管 台 口 径	—		75 A*14
	フ ラ ン ジ 厚 さ	mm		24*13
材 料	本 体	—		STPG370
	ふ た 板	—		S25C
	フ ラ ン ジ	—		S25C
個	数	—	8(予備 1)	



		変 更 前	変 更 後
取 付 箇 所	—	—	保管場所： 荒浜側高台保管場所 T. M. S. L. 約 37000mm, 大湊側高台保管場所 T. M. S. L. 約 35000mm 及び 5号機東側第二保管場所 T. M. S. L. 約 12000mm 予備を含めた9個を上記3箇所のうち荒浜側 高台保管場所及び大湊側高台保管場所にそ れぞれ2個, 5号機東側第二保管場所に5個 を保管する。  取付箇所： 【6号機】2台 6号機建屋付近 T. M. S. L. 約 12000mm 【7号機】2台 7号機建屋付近 T. M. S. L. 約 12000mm

注記\*1 : 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（格納容器圧力逃がし装置）及び非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低圧代替注水系, 水の供給設備）並びに原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（格納容器下部注水系, 代替格納容器スプレイ冷却系, 低圧代替注水系）, 圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（格納容器圧力逃がし装置）及び圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）と兼用。

- \*2 : 重大事故等時における使用時の値。
- \*3 : 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（可搬型スプレイヘッドを用いた使用済燃料貯蔵プールへの注水）で使用する場合はの値。
- \*4 : 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（常設スプレイヘッドを用いた使用済燃料貯蔵プールへの注水）で使用する場合はの値。
- \*5 : 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（可搬型スプレイヘッドを用いた使用済燃料貯蔵プールへのスプレイ）で使用する場合はの値。
- \*6 : 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（常設スプレイヘッドを用いた使用済燃料貯蔵プールへのスプレイ）で使用する場合はの値。
- \*7 : 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（格納容器圧力逃がし装置）並びに原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（格納容器圧力逃がし装置）及び圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）で使

用する場合の値。

- \*8 : 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低圧代替注水系）及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（低圧代替注水系）で使用する場合の値。
- \*9 : 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（水の供給設備）で使用する場合の値。
- \*10 : 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（格納容器下部注水系）で使用する場合の値。
- \*11 : 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（代替格納容器スプレイ冷却系）で使用する場合の値。
- \*12 : 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低圧代替注水系）及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（代替格納容器スプレイ冷却系）で同時に使用する場合の値。
- \*13 : 公称値を示す。
- \*14 : 取り合うホースの呼び径を示す。

(8) 主配管（スプレイヘッドを含む。）の名称，最高使用圧力，最高使用温度，外径，厚さ及び材料（常設及び可搬型の別に記載し，可搬型の場合は，個数及び取付箇所を付記すること。）

・常設

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
燃料プール冷却浄化系	—	—	—	—	—	燃料プール冷却浄化系 使用済燃料貯蔵プール 接続口（北） ～ 使用済燃料貯蔵プール 接続口（北），（東） 配管合流部	2.0*1	40*1	76.3*2	5.2*2	SUS304TP
									76.3*2,*3	5.2*2,*3	SUS304TP*3
									89.1*2 /76.3	5.5*2 /5.2	SUS304TP
									114.3*2 /89.1	6.0*2 /5.5	SUS304TP
									114.3*2	6.0*2	SUS304TP
									114.3*2,*3	6.0*2,*3	SUS304TP*3
									89.1*2	5.5*2	SUS304TP
									89.1*2,*3	5.5*2,*3	SUS304TP*3
						燃料プール冷却浄化系 使用済燃料貯蔵プール 接続口（東） ～ 使用済燃料貯蔵プール 接続口（北），（東） 配管合流部	2.0*1	40*1	76.3*2	5.2*2	SUS304TP
									76.3*2,*3	5.2*2,*3	SUS304TP*3
									89.1*2 /76.3	5.5*2 /5.2	SUS304TP
									89.1*2	5.5*2	SUS304TP
									89.1*2,*3	5.5*2,*3	SUS304TP*3
									89.1*2,*3	5.5*2,*3	SUS304TP*3

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
燃料 プール 冷却 浄化系	—	—				燃料 プール 冷却 浄化系	2.0*1	40*1	89.1 <sup>*2</sup>	5.5 <sup>*2</sup>	SUS304TP
									/89.1	/5.5	
									/89.1	/5.5	
									89.1 <sup>*2</sup>	5.5 <sup>*2</sup>	SUS304TP
									89.1 <sup>*2,*3</sup>	5.5 <sup>*2,*3</sup>	SUS304TP*3
89.1 <sup>*2</sup>	5.5 <sup>*2</sup>	SUS304TP									
/—	/—										
/89.1	/5.5										
89.1 <sup>*2</sup>	5.5 <sup>*2</sup>	SUS304									
補給 水系	—	—				補給 水系	2.0*1	40*1	76.3 <sup>*2</sup>	5.2 <sup>*2</sup>	STPT410
									76.3 <sup>*2,*3</sup>	5.2 <sup>*2,*3</sup>	STPT410*3

注記\*1 : 重大事故等時における使用時の値。

\*2 : 公称値を示す。

\*3 : エルボを示す。

・可搬型

変 更 前								変 更 後							
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径 (—)	厚 さ (mm)	材 料	個 数	取付箇所	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径 (—)	厚 さ (mm)	材 料	個 数	取 付 箇 所
代替給水設備			—					*1 可搬型代替注水ポン プ屋外用20mホース (6,7号機共用)	2.0*2	40*2	75 A*3	—*4	ポリエス テル	1096*5 (予備1)	保管場所： 荒浜側高台保管場所 T. M. S. L. 約 37000mm, 大湊側高台保管場所 T. M. S. L. 約 35000mm 及び 5号機東側第二保管場所 T. M. S. L. 約 12000mm 予備を含めた 1097 本を上記 3 箇所のうち荒 浜側高台保管場所に 468 本、大湊側高台保管 場所に 469 本及び 5 号機東側第二保管場所に 160 本を保管する。  取付箇所： 【6号機】292本*6 屋外 T. M. S. L. 約 49000mm 可搬型代替注水 ポンプ(A-2級)～ 屋外 T. M. S. L. 約 15000mm 可搬型代替注水 ポンプ(A-2級)～ 屋外 T. M. S. L. 約 12000mm 可搬型代替注水 ポンプ(A-2級)～ 屋外 T. M. S. L. 約 12000mm 復水貯蔵槽大容 量接続口(東),(西)及び 復水補給水系 接続口(東),(南)又は復水補給水系可搬 式接続口(東) *7, *8 【7号機】256本*9 屋外 T. M. S. L. 約 49000mm 可搬型代替注水 ポンプ(A-2級)～ 屋外 T. M. S. L. 約 15000mm 可搬型代替注水 ポンプ(A-2級)～ 屋外 T. M. S. L. 約 12000mm 可搬型代替注水 ポンプ(A-2級)～ 屋外 T. M. S. L. 約 12000mm 復水貯蔵槽大容 量接続口(東),(西)及び 復水補給水系 接続口(南),(北)又は復水補給水系可搬 式接続口(東) *7, *8
							代替給水設備								

変 更 前								変 更 後							
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径 (—)	厚 さ (mm)	材 料	個 数	取 付 箇 所	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径 (—)	厚 さ (mm)	材 料	個 数	取 付 箇 所
代 替 給 水 設 備			—					可搬型代替注水ポン プ燃料プール代替注 水用屋外20mホース (6,7号機共用)	2.0*2	40*2	75 A*3	—*4	ポリエステル	10 (予備10)	保管場所： 荒浜側高台保管場所 T.M.S.L.約37000mm 及び 大湊側高台保管場所 T.M.S.L.約35000mm 予備を含めた20本を上記2箇所にそ れぞれ10本ずつ保管する。  取付箇所： <b>【6号機】</b> 10本 屋外 T.M.S.L.約12000mm 可搬型代 替注水ポンプ(A-1級)～使用済燃料 貯蔵プール接続口(北),(東) <b>【7号機】</b> 10本 屋外 T.M.S.L.約12000mm 可搬型代 替注水ポンプ(A-1級)～使用済燃料 貯蔵プール接続口(北),(東)

変 更 前								変 更 後							
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径 (—)	厚 さ (mm)	材 料	個 数	取 付 箇 所	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径 (—)	厚 さ (mm)	材 料	個 数	取 付 箇 所
代 替 給 水 設 備			—					可搬型代替注水ポン プ屋内用20mホース <sup>*10</sup>	2.0 <sup>*2</sup>	40 <sup>*2</sup>	75 A <sup>*3</sup>	— <sup>*4</sup>	ポリエステル	32 <sup>*11</sup> (予備1)	保管場所： 原子炉建屋 T. M. S. L. 約 23500mm, T. M. S. L. 約 12300mm 及び 大湊側高台保管場所 T. M. S. L. 約 35000mm 予備を含めた 33 本を上記 3 箇所のう ち原子炉建屋 T. M. S. L. 約 12300mm に 9 本, 原子炉建屋 T. M. S. L. 約 23500mm に 8 本及び大湊側高台保管場所に 16 本保 管する。  取付箇所： 原子炉建屋 T. M. S. L. 約 12300mm 可搬型代替注水ポンプ屋外用 20m ホー ス又は使用済燃料貯蔵プール可搬式 接続口（屋内南）～原子炉建屋 T. M. S. L. 約 31700mm 可搬型スプレイ ヘッダ <sup>*12</sup> : 12 本 <sup>*13</sup> 原子炉建屋 T. M. S. L. 約 12300mm 復水補給水系可搬式接続口（屋内東） ～原子炉建屋 T. M. S. L. 約 12300mm 復 水補給水系可搬式接続口（屋内北） <sup>*14</sup> : 4 本

変更前								変更後							
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (—)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (—)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所
燃料プール冷却浄化系			—					可搬型スプレイヘッダ (6,7号機共用)	1.6*2	40*2	75 A*15	—*4	AC4CH*16	1 (予備1)	保管場所： 6号機原子炉建屋 T.M.S.L.約 23500mm 及び 7号機原子炉建屋 T.M.S.L.約 23500mm 予備を含めた2個を上記2箇所にそれぞれ1個ずつ保管する。  取付箇所： 【6号機】1個 原子炉建屋 T.M.S.L.約 31700mm 【7号機】1個 原子炉建屋 T.M.S.L.約 31700mm

注記\*1：原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（格納容器圧力逃がし装置）及び非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低圧代替注水系、水の供給設備）並びに原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（格納容器下部注水系、代替格納容器スプレイ冷却系、低圧代替注水系）、圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（格納容器圧力逃がし装置）及び圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）と兼用。

\*2：重大事故等時における使用時の値。

\*3：メーカーにて規定する呼び径を示す。

\*4：メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。

\*5：必要本数 548 本（6号機：292本、7号機：256本）を2セットに予備1本の数量を示す。

\*6：最長のルートである「可搬型代替注水ポンプ（A-2級）～可搬型代替注水ポンプ（A-2級）～可搬型代替注水ポンプ（A-2級）～復水貯蔵槽大容量接続口（西）及び復水補給水系接続口（南）」に敷設した場合の本数を示す。

\*7：原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（水の供給設備）及び原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低圧代替注水系）として同時に使用する場合。

\*8：本ルート以外で使用する取付箇所は、可搬型代替注水ポンプ（A-1級）、使用済燃料貯蔵プール接続口（北）、（東）、使用済燃料貯蔵プール可搬式接続口（南）、可搬型代替注水ポンプ屋内用 20m ホース及びフィルタ装置補給用接続口。

\*9：最長のルートである「可搬型代替注水ポンプ（A-2級）～可搬型代替注水ポンプ（A-2級）～可搬型代替注水ポンプ（A-2級）～復水貯蔵槽大容量接続口（西）及び復水補給水系接続口（北）」に敷設した場合の本数を示す。

\*10：原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低圧代替注水系）及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（格納容器下部注水系、代替格納容器スプレイ冷却系、低圧代替注水系）と兼用。

\*11：必要本数 16 本を2セットに予備1本の数量を示す。

\*12：核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（可搬型スプレイヘッダを用いた使用済燃料貯蔵プールへの注水及びスプレイ）で使用する場合。

\*13：最長のルートである「可搬型代替注水ポンプ屋外用 20m ホース～可搬型スプレイヘッダ」に敷設した場合の本数を示す。



\*14：原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低圧代替注水系）及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（格納容器下部注水系，代替格納容器スプレイ冷却系，低圧代替注水系）で使用する場合。

\*15：取り合うホースの呼び径を示す。

\*16：可搬型スプレイヘッド本体の材料を示す。